

はしがき

本書は、1989年度にアジア経済研究所統計調査部が実施した共同研究「コメコン諸国貿易マトリクスの利用」の成果をとりまとめたものである。

1989年以前、ソ連邦・東欧諸国では様々な「経済改革」の試みが行われてきた。しかし、そのような試みが次々に挫折する中、1989年秋のベルリンの壁撤去を一つの契機として、政治的変革は燎原の火のように燃え広がった。この政治的変革過程が一段落した現在、変革過程は再び経済改革へと、すなわち、国民経済の枠組みをこれまでの中央計画経済から資本主義的市場経済に変えることにその重心が移行してきている。これに伴って、本共同研究の研究対象課題であるコメコン加盟諸国の貿易も、その制度、構造、統計計算等、これまでのコメコン体制の中におけるものとは本質的に異なるものになりつつある。しかしながら、この過程は、未だ完結したものとはなっていない。

本共同研究会の課題は、コメコン加盟諸国の戦後の貿易問題を取り扱っているが、前述した変化過程についてはあまり言及されていない。それは、本共同研究会の準備、および発足の段階では、現在の事態を予測していなかったこと、未だ変化過程が完了していないこと等のためである。しかしながら、すでに解体過程に入っているコメコン体制が作り上げてきた40年の歴史を、その貿易の領域で取りまとめておくことが現在の段階では重要であると思われる。本書が読者諸氏の研究の一助になれば、執筆者一同にとって幸いである。

なお、統計調査部はこれまでに、「コメコン諸国の貿易統計の評価」（1986年度）、「コメコン諸国の貿易統計体系」（1987年度）、の共同研究を実施してきた。これら共同研究の成果は、『ソ連・東欧諸国貿易マトリクス』（統計資料シリーズNo.51）、平泉秀樹『コメコン加盟諸国の外国貿易統一商品品目表』（『アジア経済』、1989年10月号掲載）、平泉秀樹訳『コメコン加盟諸国の外国貿易統一商品品目表（増補・改訂第4版）』（『アジア経済研究所統計資料シリーズ』、1991年3月）として発表されている。併わせて参照されたい。本書は2部に分かれていて、第I部第1章 各国貿易統計の解説、第2章 コメコン諸国貿易の諸問題は各委員が分担して執筆した。第II部統計編は平泉が作成した。

共同研究会の委員の構成は以下のとおりである。

主査 平泉秀樹（アジア経済研究所統計調査部）

幹事 同上

委員 高橋 浩（ソ連東欧経済研究所調査部）
田口雅弘（岡山大学教養学部助教授）
難波 修（アジア経済研究所海外調査員・在ブルガリア）
（所属は1991年3月現在）

最後に、本書の作成に際しては上記委員のほかに次の方々に協力をお願いした。相原好江さん、竹内郁雄氏にはそれぞれキューバ統計年鑑、ベトナム統計年鑑の貿易統計に関する方法論、統計表のタイトルの翻訳をお願いした。ここに記して筆者一同感謝の意を表したい。

1991年11月

平泉秀樹